



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 水道の大切さを学ぶ!! —

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

■管理された安全な飲み水

SDGs (持続可能な開発目標) の第6番目の目標は、「安全な水とトイレを世界中に」です。国連の統計によりますと、管理された安全な飲み水を利用できない人は、世界の約3割、21億人以上いるとのことです。汚染された水を使用しています。川や湖が遠く、井戸を掘ることも難しい地域もあります。

■水道

人類と水道の歴史は古く、古代ローマ人が作った11水路は有名です。日本の水道の始まりは、小石川上水です。江戸幕府が開かれる13年も前の1590(天正18)年のことです。

近代水道は、横浜で1887(明治20)年に給水が始まりました。川や湖の水をそのまま飲料するのではなく、沈殿・濾過・消毒し、鉄管を使用してポ

ンプ圧送で送水しました。

■郡山市上下水道局の仕事

SDGsにも詳しい郡山市上下水道局長の安藤博さんに、水道のことをお聞きしました。「安全・安心な水を市民の皆さんへ供給するために、いろいろな努力をしています。水質を検査する専門の技師は、10人もいます。水源地バスツアーを企画し、市民の皆さんと一緒に、水源の猪苗代湖岸の清掃をしています。猪苗代湖は、郡山市民にとって大切な水瓶です。」

「例年、8月や1月などに使用量が増えます。お盆とお正月があるからでしょうかね。市民の皆さんの協力もあり、郡山市では最近、使用制限をお願いしたことはありません。」

■みんなのできる地球温暖化防止活動

安藤さんの趣味は、家庭菜園とのこと。「改めて、水の大切さを感じています。実は、水道は巨大なシステムです。取水口から導水管により原水の勢いを調整し沈砂池、……浄水池、配水池にためて、家庭に届けます。各所でポンプを使用します。水道水は、この様にエネルギーの塊なのです。じょうずに使用することが、地球に優しい生活になり、結果として地球温暖化防止につながります。」

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>